

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月19日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ベクター

コード番号 2656 URL <http://www.vector.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 梶並 伸博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 梶並 京子

TEL 03-5337-6711

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,047	18.3	90	△10.6	93	△9.7	51	△12.7
23年3月期第1四半期	885	—	100	—	103	—	59	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	373.37	371.71
23年3月期第1四半期	428.73	425.48

(注)23年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については、22年3月期第1四半期は四半期連結財務諸表を作成しているため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,436	—	2,798	—	—	81.4
23年3月期	3,539	—	2,815	—	—	79.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,796百万円 23年3月期 2,813百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	500.00	500.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)業績を考慮した剰余金配当を実施することを基本方針としていることから、現時点では平成24年3月期の配当については未定であります。具体的な金額が決定次第、速やかに開示いたします。

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	1,990	3.3	95	△56.5	95	△57.5	43	△66.3	311.59
通期	4,250	7.8	450	8.2	450	5.7	250	70.2	1,811.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

当第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、425円42銭であります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	139,274 株	23年3月期	139,274 株
24年3月期1Q	1,272 株	23年3月期	1,272 株
24年3月期1Q	138,002 株	23年3月期1Q	137,621 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成23年7月19日(火).....アナリスト向け決算説明会

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期財務諸表等	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）のわが国経済は、東日本大震災による直接的被害に加えて、計画停電の実施などで経済活動に大きな混乱が生じました。個人消費の面でも、雇用・所得環境の悪化とともに生活防衛意識が高まるなど当社を取巻く事業環境は厳しさを増しました。このような環境下、当社の第1四半期累計期間の業績は、営業収益については1,047,348千円と前年同四半期比18.3%増となりました。一方、利益状況につきましては、営業費用のうち減価償却費、広告宣伝費などの大幅増が響き、営業利益は90,150千円と前年同四半期比10.6%減となり、経常利益は93,205千円と前年同四半期比9.7%減、税引前当期純利益は88,396千円と前年同四半期比12.1%減となりました。この結果、法人税等を差し引いた四半期純利益は51,526千円と前年同四半期比12.7%減となりました。

また、当社は前事業年度第4四半期会計期間（平成23年1月1日～平成23年3月31日）においては、前事業年度第3四半期会計期間（平成22年10月1日～平成22年12月31日）と比して大幅に業績が悪化しました。しかしながら、東日本大震災から3か月が経過し、福島原発事故に端を発した電力供給不安に対しても、節電の徹底により計画停電の回避が見込まれるなど、一定の落ち着きを取り戻しつつあり、当第1四半期累計期間は、直前四半期である前事業年度第4四半期会計期間に比べた場合は、大幅な増収増益となりました。

当第1四半期累計期間の主なセグメント別販売実績については、以下のとおりであります。

## オンラインゲーム事業

当社が経営の柱として力を入れているオンラインゲーム事業については、当第1四半期累計期間の販売金額は768,610千円と前年同四半期比41.0%増となり、当該事業の当第1四半期累計期間の営業収益に占める割合は、73.4%にまで高まりました。

当該事業は、従来型オンラインゲーム（クライアントソフトをパソコンにダウンロードするもの）、ブラウザゲーム（パソコンのブラウザ上で起動するダウンロード不要のオンラインゲーム）、モバイルゲーム（ブラウザゲームの一種で携帯電話で「アプリ」と呼ばれる応用ソフト無しで遊べるもの）の3つの分野から構成されています。

従来型オンラインゲーム（MMORPG）は、当第1四半期累計期間末時点で11タイトルを運営しております。平成23年4月より正式サービスを開始した大型タイトル「Finding Neverland Online ー聖境伝説ー」が好調な滑り出しを見せ、また、従前より運営しております「三国ヒーローズ」、「Angelic Crest」、「SOULALIVE ONLINE」などのタイトルが堅調に推移した結果、当該事業の販売金額の6割強を占めるに至り、当第1四半期累計期間におけるV字回復に大きく貢献いたしました。

平成21年8月より開始したモバイルゲームは、主として携帯電話向け交流サイト運営会社の専門サイトを通じて「こいけん!」など当第1四半期累計期間末時点で12タイトルを運営しております。タイトルを自社開発している中で、より知名度の高いタイトルの参入等による競争激化に直面して、苦戦を余儀なくされております。また、専門ポータルサイト「ブラゲタイム」上で展開するブラウザゲームは「ドラゴンクルセイドII」など当第1四半期累計期間末時点で11タイトルを運営しましたが、従来型オンラインゲームに比べ表現力に劣る点などから、一時ほどの勢いがなくなりつつあり、従来型オンラインゲームの重要性が増しております。

## ソフトウェア販売事業

ソフトウェア販売事業の当第1四半期累計期間の販売金額は241,487千円と前年同四半期比20.5%減となりました。うち、プロレジ・サービスの販売金額は208,421千円と前年同四半期比19.6%減となるなど、ソフトウェアのダウンロード販売事業は、ウイルス対策ソフトについては依然根強い需要がありますが、概して消費者向けパソコンソフトに対する関心度合いは低く、減少傾向に歯止めがかかりません。そのほか、ソフトハウス向けダウンロード販売総合支援サービス業務の売上高も25,079千円と前年同四半期比14.2%減となりました。

(注) ソフトダウンロード販売の営業収益の計上方法は、シェアレジ・サービスは利用者および作者からの手数料（利用者からは利用毎に一定金額の手数料を徴収し、作者からはソフトの本体価格に一定料率を乗じた金額を手数料として徴収しております。）のみを計上しているのに対し、プロレジ・サービスは本体販売価格を売上高として計上しております。

## サイト広告販売事業

サイト広告販売事業の当第1四半期累計期間の販売金額は、36,252千円と前年同四半期比2.6%増となりました。うち、キーワード広告（リスティング広告）については当該事業の42.9%を占め、サイト広告販売事業を牽引しております。

## その他

その他の当第1四半期累計期間の販売金額は、998千円と前年同四半期比21.4%減となりました。うち、個人向け会員制ブログサービスが33.9%を占めており、他は他社サーバー運用受託サービス等となっています。

## 当第1四半期のセグメント別販売実績

(単位：千円、%)

	平成24年3月期第1四半期累計期間		
	金額	前年同四半期比	構成比
オンラインゲーム事業	768,610	41.0	73.4
ソフトウェア販売事業	241,487	△20.5	23.1
サイト広告販売事業	36,252	2.6	3.5
その他	998	△21.4	0.1
合計	1,047,348	18.3	100.0

## (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期累計期間末（平成23年6月30日）における資産合計は、3,436,053千円となり、前事業年度末に比べ103,894千円減少しました。

## （資産）

流動資産については2,464,328千円と前事業年度末に比べ129,544千円減少しました。うち、現金及び預金が前事業年度末に比べ399,332千円減少しましたが、売掛金及び有価証券がそれぞれ前事業年度末に比べ184,165千円、100,628千円増加しました。固定資産については971,724千円と前事業年度末に比べ25,650千円増加しました。これはオンラインゲーム事業に係るソフトウェアの取得などで、無形固定資産合計が前事業年度末に比べ38,906千円増加したことなどによります。

## （負債）

負債については流動負債が620,457千円と前事業年度末に比べ87,937千円減少したなどで、負債合計は637,221千円と前事業年度末に比べ87,150千円減少しました。

## （純資産）

純資産については株主資本は2,794,386千円と前事業年度末に比べ17,474千円減少しました。なお、負債合計の負債純資産合計に占める割合が前事業年度末の20.5%から18.5%に低下し、自己資本比率は、前事業年度末の79.5%から81.4%に1.9%上昇しました。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点では平成23年5月20日に公表いたしました第2四半期累計期間（中間期）及び通期の業績予想から修正を行っておりません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、425円42銭であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,476,317	1,076,984
売掛金	423,276	607,441
有価証券	530,297	630,926
その他	163,982	148,976
流動資産合計	2,593,873	2,464,328
固定資産		
有形固定資産	105,751	94,982
無形固定資産		
のれん	20,313	15,625
ソフトウェア	395,730	520,918
その他	157,374	75,781
無形固定資産合計	573,418	612,325
投資その他の資産	266,904	264,417
固定資産合計	946,074	971,724
資産合計	3,539,948	3,436,053
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	167,131	220,630
未払法人税等	138,982	17,439
引当金	40,989	22,075
その他	361,292	360,311
流動負債合計	708,395	620,457
固定負債		
引当金	15,976	16,763
固定負債合計	15,976	16,763
負債合計	724,371	637,221
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,006,246	1,006,246
資本剰余金	1,395,244	1,395,244
利益剰余金	505,321	487,846
自己株式	△94,952	△94,952
株主資本合計	2,811,861	2,794,386
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,107	2,587
評価・換算差額等合計	2,107	2,587
新株予約権	1,608	1,858
純資産合計	2,815,576	2,798,832
負債純資産合計	3,539,948	3,436,053



(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益	885,462	1,047,348
営業費用	784,617	957,197
営業利益	100,845	90,150
営業外収益		
受取利息	1,925	2,299
受取配当金	55	61
その他	587	693
営業外収益合計	2,568	3,054
営業外費用		
株式交付費	186	—
雑損失	—	0
営業外費用合計	186	0
経常利益	103,228	93,205
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,440
特別利益合計	—	1,440
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,362	—
義援金	—	6,248
その他	262	—
特別損失合計	2,625	6,248
税引前四半期純利益	100,603	88,396
法人税、住民税及び事業税	31,218	15,611
法人税等調整額	10,382	21,257
法人税等合計	41,601	36,869
四半期純利益	59,001	51,526

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウェア 販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	545,011	303,832	35,348	884,192	1,270	885,462
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	545,011	303,832	35,348	884,192	1,270	885,462
セグメント利益又は セグメント損失(△)	64,098	37,256	20,010	121,365	△ 3,802	117,563

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、個人向け会員制ブログサービス、他社サーバ運用管理受託業務などを含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	121,365
「その他」の区分の損失(△)	△ 3,802
全社費用(注)	△ 16,717
四半期損益計算書の営業利益	100,845

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## II 当第1四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

## 1. 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウェア 販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	768,610	241,487	36,252	1,046,349	998	1,047,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	768,610	241,487	36,252	1,046,349	998	1,047,348
セグメント利益又は セグメント損失(△)	70,418	26,589	21,432	118,440	△1,998	116,441

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、個人向け会員制ブログサービス、他社サーバ運用管理受託業務などを含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	118,440
「その他」の区分の損失(△)	△1,998
全社費用(注)	△26,291
四半期損益計算書の営業利益	90,150

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。